



平成29年9月4日

もの・心の環境整備

夏休み中、グラウンドを使う機会がほとんどなく、雑草が伸び放題でした。しばらく放っておくとずいぶん大変な有様になるものです。8月26日(土)大勢の保護者の皆様のご協力により、グラウンド・中庭・花壇等の除草、トイレ等の清掃を行っていただきました。見違えるようにきれいになりました。誠にありがとうございました。おかげで気持ちよく2学期を迎えることができました。整った環境で学習を始められる子供たちは幸せです。

私は、この夏休み中に伊勢神宮に行ってきました。天照大御神をお祀りしてある内宮の入口である宇治橋をわたり、玉砂利を敷き詰めた長い参道を進むと心引き締まるものがあります。広い神苑はきれいに整備されています。整備担当の方が常に気を配ることで美しさが保たれているのでしょう。これに加えて参拝に訪れる人々の、神域を汚してはいけないという思いが美しさに一役買っていると思います。場を清め整え保つ行為、場の価値を知り汚すまいと思う心の両方がある、すばらしい環境を長年保ち続けているのでしょう。

P T A早朝親子奉仕作業にも2つのよさがあります。グラウンドや校舎がきれいになるということ。そして、親子で作業に取り組み、心地のよい汗をかけるということ。もの、心の両面での価値があります。この作業に参加して2つの価値を体験することができた子供たちは幸せです。

子供たちの元気な声が戻ってきました。学校にとっての一番の幸せは、子供たちの明るい声が響いていることです。教室や校舎のきれいにするといった環境の面、学校は落ち着いて学習するところといった心の面、両方の整備を心掛け子供たちのよりよい成長を支えていこうと思います。



〈きれいなグラウンドで遊ぶ子供たち〉